

第2次安芸高田市総合計画(第3回)審議会 要点録

開催日時：平成26年10月7日(火)午後7時～9時20分

開催場所：安芸高田市民文化センター

(クリスタルアージュ 4階小ホール)

出席者	<p>■審議会委員（敬称略）</p> <p>久保野哲也 八千代町振興会連絡協議会</p> <p>藤井 敏法 美土里町地域運営協議会連合会</p> <p>富永 道治 甲田町地域振興連合会</p> <p>吉長 成恭 広島国際大学</p> <p>高崎 義幸 広島修道大学</p> <p>山本 優 安芸高田市議会 総務企画常任委員会</p> <p>児玉 史則 安芸高田市議会 文教厚生常任委員会</p> <p>大下 正幸 安芸高田市議会 産業建設常任委員会</p> <p>徳永 彰 安芸高田市医師会</p> <p>近藤 俊樹 広島北部農業協同組合</p> <p>竹重 博樹 (社福)安芸高田市社会福祉協議会</p> <p>猪上 優彦 安芸高田市民生委員・児童委員協議会</p> <p>佐藤 正彦 安芸高田市老人クラブ連合会</p> <p>西名 真一 (公財)安芸高田市地域振興事業団</p> <p>中田 幸子 安芸高田市ふるさと応援の会</p> <p>岩下 雅俊 安芸高田市PTA連合会(途中参加)</p> <p>佐々木高美 安芸高田市PTA連合会</p> <p>岸本 勇示 安芸北森林組合</p> <p>森脇 洋平 安芸高田市工業会</p> <p>■事務局</p> <p>山平 修 企画振興部 政策企画課長</p> <p>河本 圭司 企画振興部 政策企画課 企画調整係長</p> <p>森本 貞彦 企画振興部 政策企画課 企画調整係 主査</p>
欠席者	<p>■審議会委員（敬称略）</p> <p>平田 武幸 吉田町地域振興会連絡協議会</p> <p>用田 正 高宮町地域振興会連絡協議会</p> <p>正田 建二 向原町地域振興会連絡協議会</p> <p>桂 啓介 安芸高田市歯科医師会</p> <p>熊高 一雄 安芸高田市商工会</p>
傍聴者	5人
会議次第及び資料	<p>会議次第</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) 庁内及び審議会委員ヒヤリングのまとめについて【資料1】</p> <p>(2) 安芸高田市第2次総合計画の構成について【資料2】</p> <p>4. 協議事項</p>

	<p>(1) 基本方針の具体化協議について【資料3】【資料4】</p> <p>①ワークショップの進め方について</p> <p>②第1テーマ検討</p> <p>③第2テーマ検討</p> <p>5. 閉 会</p> <p>【資料】</p> <p>資料1: 今後のまちづくりにおける このまちの強みと課題</p> <p>資料2: 安芸高田市 第2次総合計画 構成イメージ図</p> <p>資料3: 課題解決に向けた基本方針（骨子）</p> <p>資料4: 基本方針の具体化協議について</p> <p>参考資料: 策定の背景にある主な社会情勢と第1次総合計画の振り返りについて</p> <p>: 支所別人口世帯数</p>
<p>会 議 概 要</p>	
<p>事務局</p>	<p>1. 開 会</p> <p>本日は、ご多忙の中にも関わりませずお集まりいただきありがとうございました。</p> <p>第3回安芸高田市総合計画審議会を只今より開催させていただきたいと思っております。本日の会議には、委員24名中出席者18名、欠席者6名となっております。途中から参加される委員もいらっしゃるかも知れませんが、安芸高田市総合計画審議会条例第5条第2項の規定によりまして半数以上の出席をいただいておりますので、会議の成立・定足数に達していることをご報告申し上げます。また、今回も要点録を作成いたしますので、本会議について録音をさせていただくことをご了承ください。</p> <p>それでは、ただいまから次第に沿って会議を進めさせていただきます。</p> <p>最初に会長からご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
<p>会 長</p>	<p>2. 会長挨拶</p> <p>こんばんは。皆様、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日は、第3回目の審議会となりますが、こういう審議会では珍しく、少人数に分かれていただいているワークショップをしていただくと言うことで、その成果を総合計画に反映していければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>時間の制約もございますが、論を尽くしていただきたいと思っております。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>まず、本日の資料でございますが、事前に送付しております資料をご持参いただいていると思っております。別に机上に資料を配布しております。支所別人口世帯数の資料と資料4の修正版でございます。ご確認ください。</p> <p>それでは、次第3の協議事項に移りますが、審議会条例第4条第3項の規定によりまして、会議の議長を会長をお願いいたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>3. 報告事項</p> <p>先ほども申しましたとおり、本日はワークショップ形式で協議を進めていただく予定です。その前に2件の報告事項がございますので、次第に従いまして進めてまいります。ご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは報告事項の(1)(2)につきまして、資料1資料2により続けて事務局より報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(1)庁内及び審議会委員ヒアリングのまとめについて【資料1】</p> <p>(2)安芸高田市 第2次総合計画の構成について【資料2】</p> <p>前回第2回の審議会の後、9月1日から5日までの間で、庁内各課のヒアリングと審議会委員皆</p>

	<p>様へのヒアリングを実施いたしました。委員皆様へのヒアリングの内容についてまとめたものも、郵送させていただきますが、この「まとめ」につきましては、内容について、委員の皆様を確認を取らずに送付させていただきます。大変申し訳なく思っております。後ほど、「発言したことと異なる記述があった」とのご指摘をいただきました。大変申し訳ありませんでした。</p> <p>なお、この資料につきましては、本審議会委員皆様の共有資料とさせていただきます、外部への公表は控えさせていただきます。</p> <p>それでは、資料1、資料2によりエブリプランより報告させていただきます。</p> <p><庁内及び審議会委員ヒアリングのまとめと総合計画構成について報告></p>
会 長	<p>ありがとうございました。2件の報告をいただきました。</p> <p>報告2の構成につきましては、基本構想の中身について、こういう構成で行くよということですが、完全に固めてしまったということではございません。多少の変更も出てくるかもしれません。細かいご質問は、今回は避けていただき、次回にご発言いただく機会を設けたいと思いますが、只今の報告事項について、ご意見等はございませんか。</p>
委 員	<p>意見と言うよりもお礼を申し上げます。前回いろんなことを申し上げましたが、今回、きちっと整理していただきました。このガイドラインに沿って、基本構想が策定できれば素晴らしいと思いました。ありがとうございました。</p> <p>資料1の課題のところで、医療機関について、甲田では開業医さんが増えているのですが、将来的にはどうなっていくのか、医療関係の方のご意見も聞きながら進めていくべきと感じました。</p> <p>もう一点、教育について、人材の育成ということもありますが、もっとクローズアップして考えて行けばという風を感じました。</p> <p>まずは、一言お礼を言いたかったところです。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>そのほか、お気付きの点がございませうでしょうか。</p> <p>ただ今の医療問題、教育問題につきましては、これからのワークショップのなかでも議論いただければと思います。</p> <p>それでは、ワークショップに移ります。</p> <p>進め方につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>4. 協議事項</p> <p>(1)基本方針の具体化協議について【資料3】【資料4】</p> <p>事前に送付させていただきました資料4では、3つのグループに分かれて実施するよう説明していましたが、時間に限りがあり皆様のご意見をより多くご発言いただくため、4名程度で、欠席されている委員もいらっしゃると思いますので、4～5グループで実施できればと思います。終了の時刻を21時とさせていただきます。グループごとのまとめも、すぐにはできませんので、次回の審議会でご報告させていただくこととします。</p> <p>進め方の詳細につきましては、エブリプランより説明いたします。</p> <p><ワークショップの進め方について説明></p>
ワークショップ	<p>以下四つのグループによりテーマ別で討議を実施。</p> <p>まとめは次回審議会でおこなう。</p> <p>以下、概略のまとめとして、グループごとの発表がありました。</p>
「働く場を整える」	<p>テーマに入る前に、そもそも論として、この審議会のあり方に対するご意見が出されました。審議会の中で、女性が一人しかいないことなどのご意見が出されました。</p> <p>まず、働く場を整えると言うことで「雇用創出」と「起業支援」ということが大きなテーマとしてあがりました。雇用創出について、最初に出たのが工業会に所属する企業のことです。50社程度いらっしゃる中で、上場企業もたくさんいらっしゃるということで、市内の雇用を支えている重要な産業であるということが出ました。企業の海外進出も広がる中で、個が雇用創出を進めて行くことはなかなか難しい時代であり、これからは農林業が安芸高田市の雇用を創出して行くべき重要な産業ではないかというお話がありました。市内の吉田高校にアグリビジネス科という科が存在して、そこでの若者の就労者支援という環境を生かしながら、今後の雇用創出の一つの受け皿として支援していけたらと言うご意見がありました。</p> <p>製造業などに就業される方もいらっしゃるのですが、住環境やレジャー施設なども十分整っていないので寂しい思いをされたり、それが理由で定住が進まないということもあるということでした。例えば、農業を志す若者であれば、安芸高田市の住環境にも満足しうる可能性があるのではないかというご意見もありました。そうすると、「雇用創出」や「起業支援」も農業を中心に進めるべきではないかというご意見が、全体として聞かれたのではないかと思います。</p>

「育てる場を整える」	<p>テーマとして「子育て支援」と「学校教育」の二つがございました。子育て支援の方では、夫の参加も重要だという意見も出ましたが、福祉との連携と言いますか、子育てと高齢者福祉との連携も必要であるというご意見がありました。</p> <p>学校教育の方では、魅力ある学校づくりということで海外との連携、目的をもつての留学と言ったことにも取り組み、魅力をつくっていくべきではないか。また、単に勉強勉強というのではなくて、コミュニケーション能力を高めるような魅力ある学校教育を目指す必要があるのではないかとご意見がありました。</p> <p>また、中高生のアンケートを行ったその結果を、学校にかえす必要があるのではないかと。こういった議論の場に、中・高生を参加させ、若い世代の意見も反映させるようにすれば良いのではないかとご意見もいただきました。</p>
「いのちを守る」	<p>地域の生活にとって、最もベースになるテーマで議論しました。人口を増やすという意味からも、安心につながりますので、そのなかでも「防災」、「医療体制」、「防犯」の三つをメインに議論しました。中でも、最も盛り上がったのが医療体制についてでした。</p> <p>まず、初期診断ができるような基本体制をつくってほしいというご意見や、安芸高田市での基幹病院でもあります吉田病院への市からの支援も考えてほしいというご意見がありました。</p> <p>防災につきましては、災害時の訓練はそれぞれ実施しているが、大災害が発生した時のための訓練ができていないのではないかとご意見や、いざという時の避難場所の見直しの必要性などがご意見として出されました。</p> <p>防犯については、比較的充実しているが、お太助フォンの普及により室内での情報は充実したが、屋外への防災無線などの整備も必要なのではないかというお話がありました。</p> <p>実際の災害が起こる箇所と、現在整備されているハザードマップとのギャップが実際にはあるので、地元の住民の方のご意見を聞いて作成すべきではないかというお話も聞けました。</p>
「地域資源を活かす」	<p>このグループは、「地域資源を活かす」というテーマで議論しました。主な分野は「歴史文化」、「スポーツ」、「自然環境」、「既存ストック」という広範囲にわたりました。この地域資源を生かして最終的に何がしたいのかということですが、人口を増やしていくためにこの地域資源を活かした取り組みを推進していくべきということでした。地域資源を活かすと言っても、個人でできることと、行政がやるべきことがあると言う中で、「自助」と「公助」の軸の中で整理していきました。</p> <p>公助の部分大きいものとして、甲立古墳の保存、また、スポーツ施設の利用について、市内と市外の利用料金や予約の受付期間が違ってたりという不平等があるので、そういったことは行政で取り組んでほしいということでした。</p> <p>一方で自助の努力によるものとして、神楽団の取り組みについては、自分たちで守っていくべきだということでした。最近、神楽団に入るために地元へ帰ってきたという方もいるし、子ども神楽もあり、文化の継承という意味でも神楽団を守っていくということは、自分たちですべき自助努力であるというお話がありました。</p> <p>中間のレベルの話では、地元でボランティアガイドをつくっていくとか、サンフレッチェや湧永のハンドボールといった地域資源を活かしていくということも、公共と自分たちの努力によって活かしていけるのではないかとご意見もいただきました。ハンドボール大会では、民泊を受入れている地域もあり、連携した取り組みを広げて行けば面白い取り組みになるのではないかとご意見もいただきました。広島のカープ女子に対し、サンフレ女子と言ったことがあれば、面白いのではないかとご意見もいただきました。</p>
エブリプラン	<p>ありがとうございます。議論できなかったテーマもありましたが、次会には事務局でも整理していただき、また皆様からのご意見もいただければと思います。</p> <p>それでは最後に総括をお願いいたします。</p>
副会長	<p>安芸高田市総合計画を考えるとということで、各テーマに沿って熱心にお話しいただきましたことに対し、感謝申し上げます。これからも市事務局とエブリプランのご協力をいただきながら、しっかりと総合計画を立てて行きたいと思っております。大変お疲れさまでした。</p>
会長	<p>熱心にご議論いただきまして、ありがとうございます。活発なご意見をいただきました。通常の審議会よりも、額と額をつき合せた形で議論いただきました。</p> <p>私も各テーブルを回りながら聞き耳を立てていました。九つのテーマは、それぞれ単独のものではないと思います。行政は、それぞれのセクションごとに仕分けして仕事をされていますが、政策企画課は総合的に考えて行かなければいけない部署かもしれません。</p> <p>例えば、子どもを育てる環境を考えると、アメリカが良いとは言いませんが、アメリカの大学生は、高校生の時にアルバイトをして自分の学費を稼ぐのですが、そのアルバイトの多くは、ベビーシッターなんです。高校生にして、子育ての体験をしている。例えば、子どもを預かっている時に子どもが熱を出したらどうするかという危機管理を体験できるわけです。子どもを育てることにより、高校生が育っていくということになります。そしてお金が儲かるということになります。バイトにより小さな雇用が生まれますが、コンビニでバイトすることとは少し違います。</p>

	<p>(起業のことについて、美郷町の起業コンテストと広島県主催の中山間地域振興リレーシンポジウム in 神石高原について紹介)</p> <p>何が言いたいかと言いますと、こう言った会に参加して情報を得ると言うことも大事なことであるということです。また、若い年代の意見も取り入れたらどうかということが、今日の議論の中でも出ていたようです。中・高生のアンケートは実施しましたが、意見を聞いてみたらどうかということです。こう言うシナリオにないことを言うと、事務局に負担をかけることとなりますが、向原高校と吉田高校がありますので、次の世代の意見を聞くと言うことも大事なこともかもしれません。</p>
事務局	<p>本日のグループでの協議につきましては、また、次回に向けて整理をしていきたいと思えます。</p> <p>全体スケジュールにつきましては、12月議会への基本構想の上程を目指しているところですが、大変厳しい日程となっています。次回の審議会を今月中に開催したいと考えています。事務的な準備が整いましたら、改めて開催のご案内をいたします。次回開催は、10月末までに開催する予定ということでご理解ください。</p> <p>資料3につきましては、回収いたします。机上においてお帰りください。</p> <p>以上をもちまして、本日の審議会は終了といたします。お疲れさまでした。</p>